

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1 参加者 大川、井谷、西

以上3名

2 山城・ルート 大山 弥山尾根

3 交通手段 電車 車 バス

4 行動記録

入山日 2014年1月31日 下山日 2015年2月1日

・1月30日(金) 20:30 大川車出発→20:40 西邸→21:10 道の駅「みき」 井谷さんピックアップ→23:30 蒜山SA 仮眠

・1月31日(土) 5:00 起床→6:00 蒜山SA 出発→7:20 大山駐車場出発 9:00 元谷小屋 →13:00 弥山尾根 西稜コース取り付き→ 柵アウト、時間が遅かったこと等により 往路を撤退 →14:45 元谷小屋 泊

・2月1日(日) 3:00 起床→4:30 元谷小屋出発 →9:30 大山山頂 →10:30 元谷小屋 → 大山駐車場 入浴後 帰神 17:00

5 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a 山行は予定の内容・日程で行動出来たか

・1月31日 前日に30～50cm程の新雪が積もり、トレースなく、ワカンで膝から腰程度までのラッセル、視界15m位の柵アウト状態で、西稜取りつきに向かうも、途中右の尾根を登ってしまい、別山尾根の取り付きに着いてしまう。その後急斜面をトラバースができるところまで下降し、西稜の取り付きをさがし、何とか見つけたが、その時点で13時前となっていた。柵アウトは続き、新雪ラッセルが続き、風雪も強かったので、1P途中で撤退した。

・2月1日 予定を変え、夏道ルートで弥山頂上を目指す。6合目からは、この日も視界15m程度の柵アウト状態。風雪も強く(15m～20m/秒)、目印の旗を頼りに登頂した。下山途中強風で進めない状況に何度かあった。

b 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか 発生した場合は具体的に記す

・柵アウト時の取り付き間違い。もっと事前に地形図を見ておくべきであった。また、行動中ルートがずれていたことに気がついた後の対応が遅かった。

c 山行の問題点、今回の教訓

・深い新雪のラッセル、柵アウト、トレース(入山者)なし、強風という厳冬期の冬山では当り前の条件をクリアできず、まだまだ力のなさを痛感した。

・大山は荒れると怖い。非常に厳しい山となる。

・再度リベンジをしたいと思う。

報告者氏名 大川 肇

平成27年2月4日



元谷小屋付近から見た北壁方面



樹林帯でのラッセル